

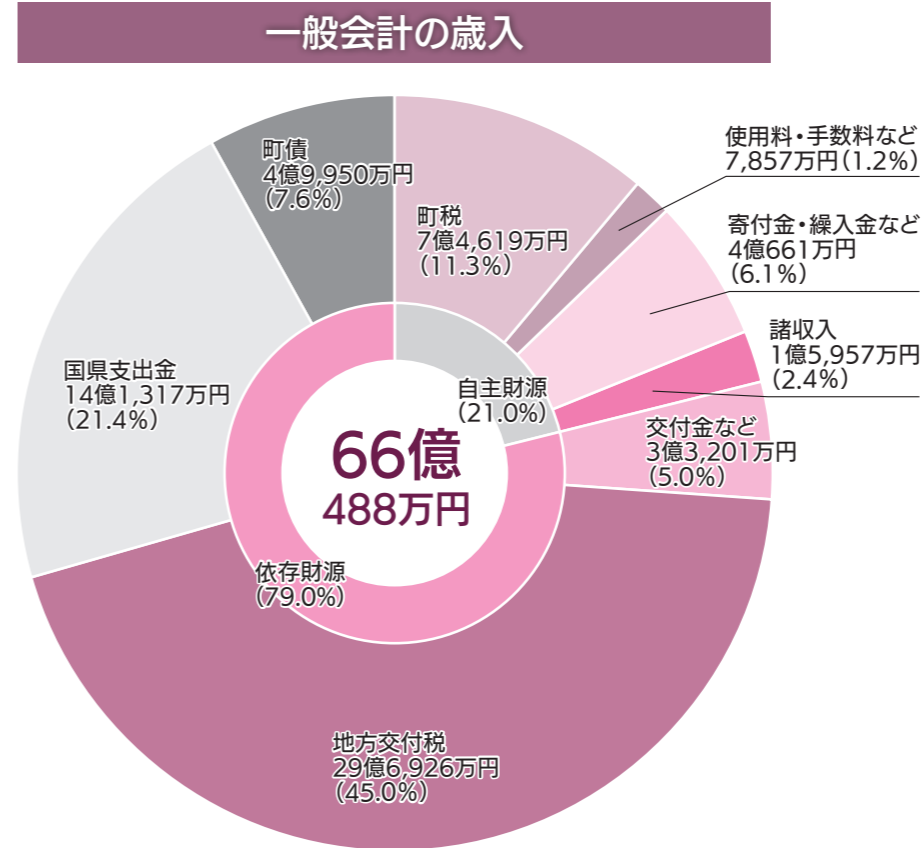
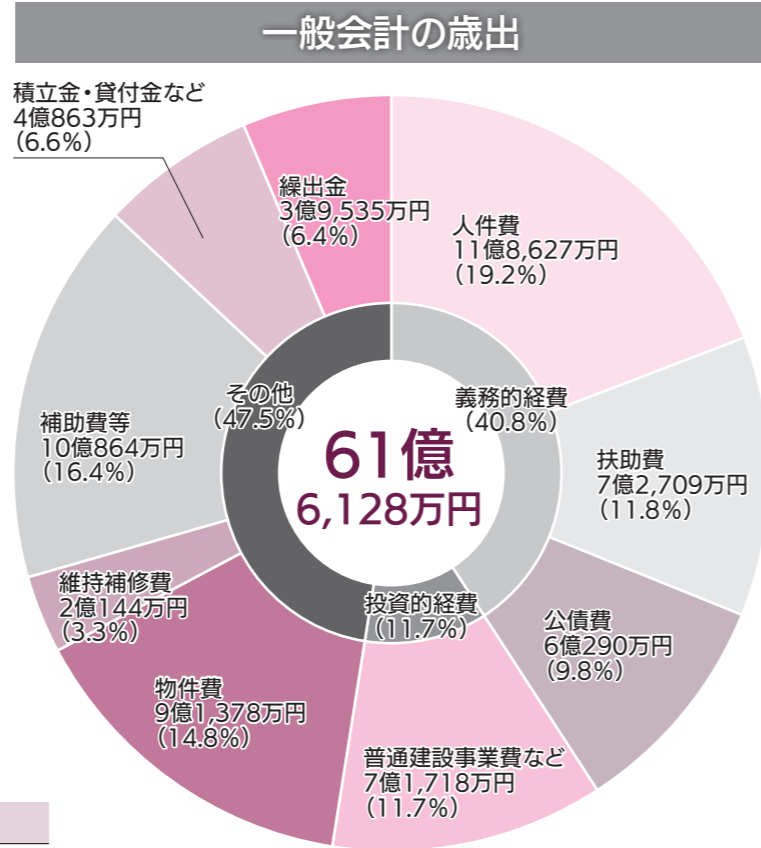
新型コロナウイルス対策や 火葬場の整備などに 61億6,128万円



供用開始から30年以上が経過し、老朽化が進む火葬場の大規模改修に着手しました。



町消防団の小型動力ポンプ積載車5台を更新し、昨年12月下旬から運用を開始。



特別会計決算

会計	歳入	歳出
国民健康保険	11億4,656万円	11億1,918万円
後期高齢者医療	1億3,733万円	1億3,726万円
介護保険		
保険事業勘定	20億3,194万円	18億8,722万円
介護サービス事業勘定	483万円	483万円
障害認定事業	391万円	308万円
水道事業会計		
区分	収入	支出
収益的収支	2億40万円	2億2,376万円
資本的収支	6,034万円	1億5,884万円
下水道事業会計		
区分	収入	支出
収益的収支	2億9,462万円	2億8,570万円
資本的収支	1億3,690万円	2億2,837万円

健全化判断比率	決算比率	早期健全化基準
実質赤字比率	—	15.00%
連結実質赤字比率	—	20.00%
実質公債費比率	10.0%	25.0%
将来負担比率	62.3%	350.0%

- **実質赤字比率** 一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率。
- **連結実質赤字比率** 全会計を対象とした実質赤字（または資金不足額）の標準財政規模に対する比率。
- **実質公債費比率** 歳入に対する負債返済の割合。
- **将来負担比率** 一般会計等が将来負担すべき債務が標準財政規模の何倍あるかを表すもの。
※実質赤字比率、連結実質赤字比率は、赤字額が生じていないため「-（該当なし）」の表示をしています。

一般会計の実質収支額は4億3,504万円

令和3年度各会計の決算が、町議会9月定例会で認定されました。令和3年度一般会計では、歳入額66億488万円、歳出額が61億6,128万円、翌年度へ繰り越すべき財源856万円を差し引いた実質収支額は4億3,504万円の黒字となりました。

財政の健全化を示す指標の実質公債費比率は10.0%、将来負担比率は62.3%で、それぞれ基準とされている25.0%、350.0%を下回っており、当町の財政は「健全」と判断されています。

地方交付税や補助金などの依存財源は79.0%

皆さんから納めていただいた町民税や固定資産税などの自主財源は、13億9,094万円、歳入の21.0%です。また、地方交付税や補助金などの依存財源は52億1,394万円、歳入の79.0%を占めています。

火葬場の大規模改修に1億7,599万円

予算の主な使いみちについては、新型コロナウイルスワクチン接種対策事業に9,014万円、令和3年度から2か年の継続事業として実施する火葬場の改修事業に1億7,599万円、旧五城目小学校の解体事業に1億7,515万円、一般廃棄物埋立処分場の改修事業に2,457万円、消防団の小型動力ポンプ積載車購入事業に2,915万円、町道の整備事業に5,196万円、除雪事業に1億3,581万円などとなっています。

各特別会計は黒字決算

このほか、4つの特別会計も黒字決算となりました。水道事業会計は、給水人口の減少、通信設備の更新による費用増加などにより、純損失の額は2,336万円となりました。

また、令和3年度から地方公営企業法適用の会計基準に移行した下水道事業会計では、純利益893万円の決算となっています。

- #### 予算の主な使いみち（令和3年度）
- ▶ **オール五城目生活応援商品券事業** …… 9,684万円
町内の登録店で使用可能な商品券1万円分を全町民へ配布しました。
 - ▶ **火葬場改修事業** …… 1億7,599万円
平成2年度からの供用開始から30年以上が経過し、老朽化が進む火葬場の大規模改修に着手しました。
 - ▶ **旧五城目小学校解体事業** …… 1億7,515万円
旧五城目小学校の解体を行いました。
 - ▶ **除雪事業** …… 1億3,581万円
冬期間の除雪により、町道の安全を確保しました。
 - ▶ **地方道路整備事業** …… 5,196万円
町道雀館幹線・五城目外環状線・町山線の舗装改良工事などを実施しました。
 - ▶ **小型動力ポンプ積載車購入事業** …… 2,915万円
運用から20年が経過した消防団の小型動力ポンプ積載車5台を更新しました。